

一般国道2号 コネクトパーキング岡山・早島 検討の背景

おかやま はやしま

- ・物流の担い手であるトラックドライバーの働き方改革を進めるため、国土交通省では「**ホワイト物流推進運動**」を展開。
- ・そのような中、**2024年度からはトラックドライバーに時間外労働の上限(休日を除く年960時間)規制も適用**されることとなっており、物流機能の維持のためには、中継輸送の普及が急務。
- ・このため、岡山県内でコネクトパーキングの整備の必要性について整理。

政府計画

総物流政策大綱(2021年度～2025年度)

今後取り組むべき施策として、「中継輸送の普及」が位置づけられている。

労働環境改善に資する幹線輸送の更なる推進

ドライバーの拘束時間の短縮や日帰り運行を実現する「中継輸送」の普及・実用化に向けて、トラック事業者の**中継輸送の取組を促進する。**

新たな労働力の確保に向けた対策

女性や若者、高齢者等の多様な人材の確保・育成が図られるよう、働き方改革を推進し、多様な人材が活躍できる職場環境を整備する。
日帰り勤務を可能にする**中継輸送の普及を推進する。**

(出典) 総物流政策大綱(2021年度～2025年度)を抜粋

ホワイト物流推進運動

ホワイト物流とは、私たちの生活基盤を支える物流業界の深刻な人手不足を受けて、トラック輸送の生産性を向上や物流の効率化を実現し、トラック運転者の負担を減らすという国土交通省自動車局等が取り組んでいる運動。

- ①トラック輸送の生産性の向上・物流の効率化
- ②女性や60代以上の運転者等も働きやすい、より「ホワイト」な労働環境の実現 など

物流革新に向けた政策パッケージ

令和5年6月に、我が国の物流を支えるための環境整備に向けて策定された「物流革新に向けた政策パッケージ」に、物流効率化の具体的な施策のひとつとして、「**物流拠点(中継輸送含む)に係る機能強化**」が掲げられている。

コネクトパーキングの必要性

- ・岡山県を中間地とする中長距離輸送は、**中国圏(広島県・山口県)・四国圏(愛媛県)・近畿圏(兵庫県・大阪府)の利用が多い。**
- ・岡山県は中四国地方の交通の要衝として重要な位置にあり、特に、早島IC周辺は**山陽自動車道(及び代替路となる一般国道2号)、瀬戸中央自動車道から利用でき、多方面からの輸送に対応している。**
- ・上記より、県内を中間地とする中長距離輸送が多く、交通の要衝である岡山県において、多方面から利用可能な**早島IC周辺においてコネクトパーキングの整備が必要。**

岡山県を中間地とする中長距離輸送

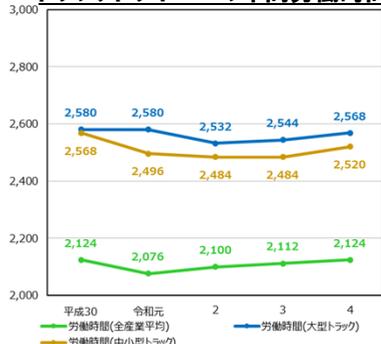


※ 物流センサス(令和3年調査結果(都道府県間流動量(代表輸送機関別)＝重量-)、商用車プローブ(R5.6)より整理。

物流業界を取りまく環境

- ・物流の担い手であるトラックドライバーの不足は深刻で、その労働条件や労働環境の改善が不可欠。トラックドライバーの**年間労働時間は全産業平均に比べ2割程度長い。**

トラックドライバーの年間労働時間



(出典) 厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

物流の2024年問題

- ・**2024年度からトラックドライバーに時間外労働の上限(休日を除く年960時間)規制*が適用。**
※ 違反すると企業に対し6カ月以下の懲役又は30万円以下の罰金
- ・荷待ち時間減少などの対策を行わなければ、約14.2% (4.0億トン)の輸送能力が不足するとの試算もある*。

※(株)NX総合研究所 試算

トラックドライバーの働き方改革

法律・内容	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
時間外労働の上限規制(年720時間)の適用【一般則】		大企業に適用	中小企業に適用				
時間外労働の上限規制(年960時間)の適用【自動車運転業務】							適用
年休5日取得義務化		適用					
月60時間超の時間外割増賃金引き上げ(25%→50%)の中小企業への適用							適用

(出典) 持続可能な物流の実現に向けた検討会

都道府県間流動量 上位50位

順位	発着都道府県		合計 / 物流量 (トン/3日)	順位	発着都道府県		合計 / 物流量 (トン/3日)
	発地	着地			発地	着地	
1	兵庫県	東京都	37,540.2	16	大阪府	広島県	13,247.5
2	神奈川県	愛知県	37,216.8				
3	東京都	三重県	24,362.2	20	広島県	兵庫県	12,299.7
4	兵庫県	愛媛県	23,865.7	31	山口県	大阪府	10,334.2
5	大阪府	愛媛県	22,838.5				
6	大阪府	埼玉県	18,359.9	34	山口県	兵庫県	10,235.6
7	福岡県	兵庫県	17,995.2				
8	大阪府	福岡県	16,185.3	44	愛媛県	兵庫県	8,958.7
9	愛知県	埼玉県	15,730.2				
10	兵庫県	広島県	15,110.6	47	広島県	大阪府	8,434.0

※ 都道府県間距離が200km以上の物流を対象に整理
※ 上位10位以降は着目するODのみ記載
出典: R3物流センサス

一般国道2号 コネクトパーキング岡山・早島 整備計画(概要)

- ・物流業界の「2024年問題」に対応するため、働き方改革に向けた取組みを速やかに実施する必要がある。
- ・物流事業者からの中継地としてのニーズが高い岡山県内に、中継拠点となる「コネクトパーキング岡山・早島」を整備することで、ドライバーの労働環境の改善を推進する。

1. 事業概要

- ・整備箇所
おかやま おかやま みなみ みしま
岡山県岡山市南区箕島
- ・延長: 約0.5km



図1 広域位置図



図2 周辺位置図

コネクトパーキング岡山・早島の機能	
中継機能	・駐車場 (40マス) ・中継作業スペース
休憩機能	・トイレ ・休憩所 (待機スペース) ・その他
面積:	約2,700㎡
民間のノウハウを活用した施設	

※今後、協議等により変更となる場合がある。



図3 整備イメージ

- ・管理運営方法は、PFI・コンセッション(公共施設等運営権)制度等の活用も念頭に入れ、効率的・効果的な管理・運営を検討予定。(図4、5)

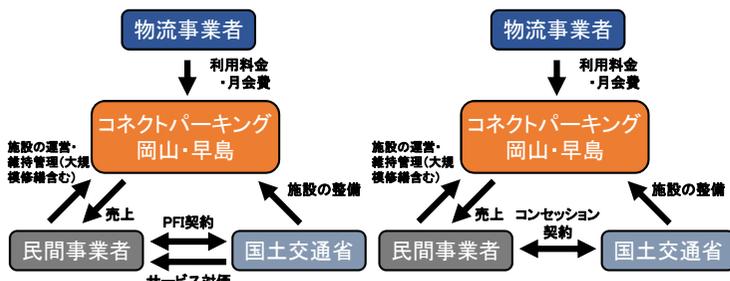


図4 PFI方式のイメージ

図5 コンセッション方式のイメージ



参考:道の駅鯉が窪
図6 施設イメージ

2. 課題

①働き方改革・2024年問題※への対応

- ・労働時間の上限規制を遵守しながら現在と同水準の物流を確保するための施策として、一つの行程を複数人で分担する「中継輸送」が期待されている。(図7)

※2024年問題とは、働き方改革関連法によって2024年4月1日以降自動車運転業務の年間時間外労働時間の上限が960時間に制限されることによって発生する問題の総称のこと

②中継輸送拠点の不足

- ・現在、国内の中継輸送拠点は静岡県のコネクトエリア浜松のみ整備済。令和5年度に広島県のコネクトパーキング宮島が事業化(図8)。
- ・中継輸送の普及には、更なる拠点の整備が必要。

③高まる中継輸送のニーズ

- ・岡山県を通過する貨物輸送を行う企業※のうち約7割が中継拠点を利用したいと回答。
- ・日帰り運行による業務効率化・健康維持等が期待されている。(図9、10)

※岡山県に隣接する福山市発着の企業は対象外

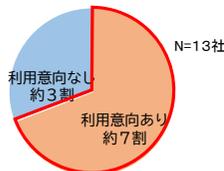


図9 岡山県内での中継拠点の利用意向

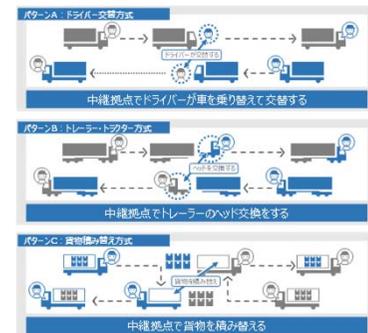


図7 中継輸送の方式



図8 全国の中継拠点整備状況



- ・積載率の向上やドライバー拘束時間の削減につながる
- ・日帰り運行可能となり、余剰車両を別業務に当てる事が可能
- ・長距離運転減少による健康維持が期待できる
- ・自社以外の協力会社の確保が課題

図10 中継輸送に関する物流企業の主な意見

3. 整備効果

効果1 トラックドライバーの労働環境の改善

- ・中継輸送の活用によって、運行時間の短縮や、日帰りでできる乗務が増加することで、労働環境の改善や新たな人手の確保が期待される。

効果2 中継輸送ニーズへの対応

- ・ニーズの高い岡山県内かつ高速道路直近に整備することで、中国圏・四国圏・近畿圏・で中継輸送が実施しやすくなる。

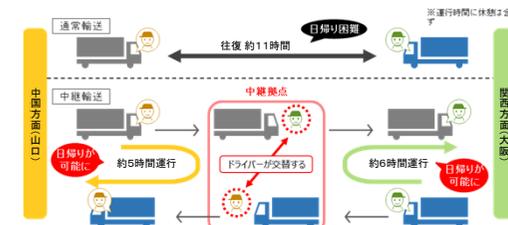


図11 中国～関西の中継イメージ